

4-1-18 看護部(保育士を含む)

1. 活動概要

平成19年度は増員なく、看護職員441名、保育士6名の定数で、副看護部長2名、看護師18名、副看護師長40名の配置である。4月に副看護部長1名、看護師長3名の人事異動があり、新規採用看護職員(新卒・配置換含む)64名を迎えスタートした。

皮膚・排泄ケア認定看護師の認定者を4月に採用し、8月から専従としハイリスク加算が算定できるようになった。また、感染管理認定看護師に1名合格し計3名となった。さらに、糖尿病療養士(学会認定)4名が合格し、それぞれに活動を開始した。

夜間の緊急手術対応とび分娩件数の増加のため、平成20年12月1日より病棟の夜勤体制を変更した。手術室は、2:0(深夜オンコール)から準夜2:深夜2に変更した。6東(ハイリスク周産期)は、準夜3:深夜3から準夜3:深夜2、6西(周産期)準夜5:深夜5から準夜6:深夜6に変更した。その他19年度取り組んだこととして、外来の在宅物品払い出しについてシステム化、クリニカルパス44種類作成、看護手順とリスクマニュアルの整合性確認、看護部内のリリーフ体制の整備などを重点的に行った。

看護研究は研究所併任の伊藤龍子先生指導により、院内研究発表を12題、学会発表を19題発表した。

2. 研究活動

2.1 院内研究

- 1) 萩原 貴子: オルソラップの保温効果に対する検討, 2008. 2. 19
- 2) 山崎かおり: 鋼線牽引治療を受けた患者の家族の医療者への要望, 2008. 2. 19
- 3) 河合 英子: 新生児集中治療室における家族が抱えるきょうだいの問題, 2008. 2. 19
- 4) 筒井 雅: 陥没乳頭をもつ褥婦へのケア
～当センターにおける陥没乳頭ケアの実際・今後のケアに向けて～
2008. 2. 19
- 5) 柳田亜紀子: 様々なケアを必要とする慢性疾患患児の在宅移行を決意した母の思い
2008. 2. 19
- 6) 松原 夏苗: 化学療法中の外泊中の過ごし方について～よりよい外泊指導の検討
2008. 2. 19
- 7) 嵯峨麻理子: 当院の不妊診療科外来における看護師が抱く思いと看護の現状
2008. 3. 4
- 8) 芹沢 円: TTTS に対して FLP を受ける妊婦のケアマップ, 2008. 3. 4
- 9) 村岡 悠子: 感染防止対策に関する看護師の意識調査, 2008. 3. 4
- 10) 結城 彩香: 呼吸器合併症で入院を繰り返す重症心身障害児の標準看護についての考察, 2008. 3. 4
- 11) 三井 千佳: 悪性腫瘍を告知された思春期患者の思い、2008. 3. 4
- 12) 小谷真知子: 無痛分娩後の出産経験の自己評価
～効果的なバースレビューを考える～, 2008. 3. 4

2.2 学会発表

- 1) 三原喜美恵: 糖尿病 I b 型の出生前遺伝カウンセリング
第31回日本遺伝カウンセリング学会, 東京, 2007. 5. 27
- 2) 菅原 美絵: インシデントレポート集計により明らかになった経管栄養チューブ事故抜去の

- 現状と課題, 第9回医療マネジメント学会, 東京, 2007. 7. 13
- 3) 細田亜希子: 経管栄養チューブ固定～事故抜去予防のための取組とその効果
第9回医療マネジメント学会, 東京, 2007. 7. 13
 - 4) 飯島 洋子: 緊急入院した児の母親への精神的援助
日本小児看護学会第17回学術集会, 長野, 2007. 7. 20
 - 5) 神庭未歩子: 思春期の神経性食欲不振症患者の抱える入院中の思いと退院指導へのアプローチ～急性期における看護～
日本小児看護学会第17回学術集会, 長野, 2007. 7. 20
 - 6) 土井麻美子: 思春期食思不振症患者の食事摂取の苦痛への関わり
～食事破棄行動に焦点を当てて～
日本小児看護学会第17回学術集会, 長野, 2007. 7. 20
 - 7) 藤原 聡子: 患者の死に向き合う家族への看護
～家族が子どもの蘇生行為を望まない症例～
日本小児看護学会第17回学術集会, 長野, 2007. 7. 20
 - 8) 薄井千恵子: 化学療法の幼児期から学童期の児への内服介助に対する看護師の認識
日本小児看護学会第17回学術集会, 長野, 2007. 7. 20
 - 9) 鈴木めぐみ: てんかんの子をもつ母親の就学前の負担感とサポート
日本小児看護学会第17回学術集会, 長野, 2007. 7. 21
 - 10) 宮本圭奈美: 在宅自己導尿児を抱えた母親の特性に応じたアプローチの検討
～母親の準備状態と患児の導尿自立との関連
日本小児看護学会第17回学術集会, 長野, 2007. 7. 21
 - 11) 昼間 香織: 病棟看護師の手指衛生に関する実態調査
日本小児看護学会第17回学術集会, 長野, 2007. 7. 21
 - 12) 林 典子: 新人教育を実施して
第11回日本医療保育学会, 大分, 2007. 7. 21
 - 13) 林 幸子: 障害部位を表示する身体地図情報システムの開発
日本小児保健学会第54回学術集会, 群馬, 2007. 9. 22
 - 14) 西海 真理: 事故情報データベース構築に向けての小児救急外来における情報収集方法の検討
日本小児保健学会第54回学術集会, 群馬, 2007. 9. 22.
 - 15) 三原喜美恵: 遺伝カウンセラーによる周産期遺伝カウンセリング
第6回日本遺伝看護学会, 三重, 2007. 9. 22
 - 16) 林 幸子: 小児救急医療における看護師のトリアージ教育評価
日本救急学会第35回学術集会, 大阪, 2007. 10. 18
 - 17) 伊藤 龍子: Breast-feeding and infants' nutritional status in Laos.
The 39th Conference of the Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health, 埼玉, 2007. 11. 23
 - 18) 鈴木佳奈子: 大規模周産期施設における不妊看護の現状と課題
—不妊患者に関わる看護職のグループインタビューを通して—
日本看護学会学術集会「看護管理」, 和歌山, 2007. 10. 25
 - 19) 山口 恵瑞: NICUにおける母児初回面会の母親への援助
日本新生児看護学会第17回学術集会, 香川, 2007. 11. 25

2.3 論文発表

- 1) 廣田久美子: 発熱を主訴に救急外来を受診する患者家族の受診理由の分析

日本看護学会誌、2007；55-60

- 2) 伊藤 龍子：小児患者に要する看護時間と適正人員配置に関する研究. 小児保健研究, 2007. 66(6):797-802
- 3) 伊藤 龍子：小児救急医療における看護師のトリアージ. 小児保健研究 Vol. 66 No4, 2007；509-515
- 4) 西海 真理：小児看護の専門性と今後の課題（総説）. 小児保健研究 2008 67(1)；3-9

2.4 研究報告書

- 1) 伊藤龍子, 清水直樹, 上村克徳, 日沼千尋, 林真由美, 林幸子, 工藤真奈美：小児救急医療におけるトリアージ教育評価に関する研究. 平成 19 年度日本小児看護学会健やか親子 21 推進事業委員会「小児救急医療における看護師のトリアージの有効性に関する研究」プロジェクト研究報告書. 2008.
- 2) 伊藤龍子, 諸橋容子, 伊藤知亜紀, 西海真理, 廣田久美子, 石井希, 舟崎知恵, 伊原仁子, 高木千都子：成育医療における育児支援ネットワークの構築に関する研究. 平成 19 年度成育医療ネットワーク共同研究事業報告書. 2008.

3. 研修

3.1 院外研修

- 1) 国立病院機構本部
 - (1) 幹部看護師管理 I 研修：宮澤 佳子 200. 7. 18～8. 1
- 2) 国立病院機構関東信越ブロック事務所
 - (1) 関東信越地区保健師助産師看護師等実習指導者講習会：千葉 早苗 2007. 9. 4～12. 11
 - (2) 看護師長等新任研修：川島 浩美、浜岡 幸加子、伊東 一代 2007. 10. 10～10. 12
 - (3) 副看護師長新任研修：伊藤 知亜紀 2007. 11. 21～11. 22、11. 26～11. 28
 - (4) 医療安全対策研修：早坂 素子 2007. 10. 17～10. 19、11. 1. ～11. 2
 - (5) 院内感染対策研修：八代 尚美 2007. 12. 6～12. 7
 - (6) 看護職員教育担当者研修：国仲 朋子 2007. 12. 3
 - (7) 退院調整看護師養成研修：西海 真理 2007. 1. 15～1. 18、3. 7 (2. 20、2. 25、2. 26 他施設見学研修)
- 3) 日本看護協会
 - (1) 実習指導者研修（東京都ナースプラザ）
 - 第1回：山口 慎広、佐藤 ゆかり、2007. 5. 11～7. 5
 - 第2回：大平 多佳子、2007. 7. 9～10. 9
 - 第3回：清水 理恵、2007. 10. 19～12. 14
 - (2) 認定看護管理者制度ファーストレベル教育課程（東京都看護協会）：切手 純代 2007. 9. 27～11. 8
 - (3) 認定看護師教育専門課程皮膚排泄ケア学科：村松 恵 2007. 1～2008. 3. 31
- 4) その他
 - (1) 保健師助産師看護師等実習指導者講習会（国立国際医療センター）：
山内 愛、福田 友美、永田 真美 2007. 11. 20～12. 21、2008. 1. 15～2. 6
 - (2) がん診療及び循環器診療に従事する医師等の研修（国立循環器病センター）：
石塚 千佳子 2008. 2. 18～2. 28
 - (3) 短期看護研修「がん化学療法看護」（国立看護大学校）：今野 理恵 2007. 11. 13～11. 16
 - (4) 短期看護研修「看護研究法～基礎コース～」（国立看護大学校）：
井比 舞子 2007. 7. 23～7. 27
 - (5) 透析療法従事者職員研修（財団法人日本腎臓財団）：玉城 久美子、2007. 7. 20～7. 21、

2007. 10. 1～26

- (6) 周産期医療研修・看護Aコース(社会福祉法人恩賜財団母子愛育会) :
林 直美 2007. 10. 29～11. 7
- (7) 母子保健セミナー「周産期における倫理を考える」(社会福祉法人恩賜財団母子愛育会) :
川上 智代 2007. 7. 26～7. 28
- (8) 母子保健セミナー「低出生体重児の成長とその支援」(社会福祉法人恩賜財団母子愛育会) : 田中 はつみ 2008. 1. 16～1. 18

3.2 院内研修

コース名	対象者	研修テーマ	日程	研修時間	研修者数	内容
実務研修 I	1年目	新採用者オリエンテーション	4月	7日	71	センターの概要・倫理・安全管理・医療機器技術・電子カルテ他
		人工呼吸器装着中の看護	5月	3.5時間	63	①講義：人工呼吸器の原理・構造、取扱ラブル対応、看護手順と留意点、事故防止対策(山田圭之介・村岡裕子看護師) ②機器の説明
		成長発達段階の理解	6月	3.5時間	55	講義：成長発達段階をふまえた看護(国立看護大学校小児看護学講師 仁尾かおり先生)
		メンバーシップとコミュニケーション	9月	3.5時間	59	①体験学習②グループワーク：メンバーとして割を通してのコミュニケーションの重要性 ③講義：メンバーシップとコミュニケーションについて(諸橋容子看護師長)
		1年目の看護の振り返り	H19 2月			レポート
	2年目	看護過程の展開と事例検討1	9月	3.5時間	45	①講義：(聖路加看護大学大学小児看護学講師：小野智美先生)
		看護過程の展開と事例検討2	11月	3.5時間		①事例発表会(事例) ②講評：聖路加看護大学大学小児看護学
		メンバーシップ	7月	3.5時間	40	①体験学習：単方法コミュニケーションと双方向コミュニケーション②グループワーク(ブレインストーミング法・KJ法)：医療チームの一員としてメンバーシップに必要なこと③講義：メンバーシップ(伊東一代看護師長) ④事前課題
	3年目	リーダーシップ	6月	3.5時間	39	①事例検討：リーダーシップを考える②自己チェック③講義：リーダーシップを身近に(田中弘子看護師長) ④事後課題

3 年 目		インフォームド・コンセント	10月	3.5 時間	40	①講義：インフォームドコンセントとは(釧持 瞳がん化学療法認定看護師) ②グループワー ク：事例検討③ロールプレイによる発表
		プリセプターシップ 1	7月	3.5 時間	35	①体験学習 ②事前課題をもとにグループワ ーク ③自己チェック講義：指導ポイントを知 って取り組もう(千葉早苗副看護師長)
		看護研究のプロセス	5月	3.5 時間	40	講義：看護研究一連のプロセス(伊藤龍子研 究所併任看護師長)
実 務 研 修 II	4～5 年 目 以 上	プリセプターシップ 2	H.201 月	3.5 時間	34	スピーチ②事前課題をもとにグループワーク
		プリセプターシップ 3	H.20 2月	3.5 時間	27	①グループワーク：このようなプリセプター になりたい②講義：プリセプターの役割(廣 田久美子副看護師長) ③ロールプレイ(2) 例) ④事後課題
		実習指導者研修	6月	1.5 時間	33	講義：実習におけるリスクマネジメント(NHO 東京医療センター附属東が丘看護助産学校副 学校長 岩本郁子先生)
		実習指導者研修	9月	1.5 時間	75	講義：教育課程における心理的な特徴につい て(東京学芸大学総合教育学系教育心理学教 授 福富 護先生)
		実習指導者(次期指導 者研修)	H.20 3月	3.5 時間	11	①事前課題をもとにグループワーク：実習経 験で印象に残っていること②講義：実習指導 の心構え(鈴木佳奈子臨床教員) ③事後課題
		自己啓発	9月	1.5 時間	41 研修生 聴講生 13	講義：看護に活かそうアサーション(近藤教 育企画 近藤成子先生)
実 務 研 修 III	6年 目 以 上	管理初級	7月	1.5 時間	41	①講義：問題解決法について(今井敦子副看 護部長) ②事後課題
			11月	1.5 時間	36	①課題実践発表②講義・評価：今井敦子副看 護部長
中 間 管 理 者 研 修	看 護 ・ 副 看 護 長	カウンセリング技法	H20 2月	1.5 時間	56	講義：医療法人全和会精神障害者生活訓練施 設武甲の森施設長・国立成育医療センター臨 床心理士 工藤剛先生

	1年目	救急時の看護	4月	3.5時間	59	①講義：救急蘇生について(清水直樹高度在宅医療科医長) ②実演③プレ・ポストテスト知識チェック
スキルコース	2年目	救急時の看護	6月	3.5時間	42	①講義：一次・二次救命処置について(清水直樹高度在宅医療科医長)、二次救命処置の理解(林幸子小児救急看護認定看護師)②実演：一次・二次救命処置③プレ・ポストテスト知識チェック
	3年目	静脈注射の実際と看護	7月	3.5時間	45	①講義：静脈留置針による静脈注射の実際(テルモ担当者)、針刺し末梢神経損傷と安全な注射のための解剖的知識(高山真一郎第二専門診療部長)、静脈注射に必要な薬剤の知識(小村誠薬剤師) ②実技
	全職員	小児救急医療の実際	5・6月(3回)	1.5時間	306	講義：日本版救急蘇生ガイドラインに基づく子どもの一次救命処置の理論と方法(清水直樹高度在宅医療科医長)
		指導者育成コース 救急時の看護	7月	2時間	33	①講義：BLS 指導上のポイント(清水直樹高度在宅医療科医長) ②実技演習
	看護研究Ⅱ	3年目以上	看護研究実践	5月～3月		
医療安全研修	1年目	KYT基礎4ラウンド法「輸液管理」	6月	3.5時間	62	①講義：輸液に関するインシデント、インシデントを起こす要因、確実な確認行動の必要性(吉岡明美専任リスクマネージャー) ②KYT基礎ラウンド法の演習・グループワーク
	2年目	KYT基礎4ラウンド法「危険の予測」	9月	3.5時間	39	①講義：看護業務と法的責任(吉岡明美選任リスクマネージャー) ②看護場面パトロール ③KYT基礎ラウンド法の演習・グループワーク
	3年目	KYT基礎4ラウンド法作業指示 STK「ベッド移動」	11月	3.5時間	45	①講義：作業指示 STK(研修担当者) ②作業指示 STK法の演習・グループワーク
	4年目	インシデントレポート KYT	H20 1月	1.5時間	45	①講義：KYT とンシデントレポート KYT について(研修担当者)：②グループワーク
看護記録研修		看護過程の展開に基づいた看護実践記録	3月	1.5時間	111	①提示事例(4事例)を各職場で監査実施②看護記録委員による監査結果発表③講評：国立看護大学校基礎看護学准教授 松山友子先生

リフレクシユ研修		看護師のスピリチュアルペインについて	10月	1.5時間	69	講義：めぐみ在宅クリニック院長 小澤 竹俊先生)
トピックス研修	全看護職員	職場における暴力対応について	7月	1.5時間	140 他部門21	看護部 講義：他人事ではない院内暴力（慈恵大学総務部渉外室長 横内昭光先生）
		臨床倫理問題について	9月	1.5時間	66	講義：倫理問題を病院組織として取り組むー臨床倫理についてー（浜松聖隷病院安全管理室部長 望月ともこ先生）
看護助手研修		自己の健康管理「腰痛予防」	10月	1時間	14	①講義：腰痛の発生と予防（諸橋容子・浅田美津子看護師長）、②腰痛体操実技：理学療法士
専門研修	基礎	臨床における看護理論の活用	9月	1.5時間	67	講義：西海真理小児看護専門看護師
	生殖	遺伝性疾患の子どもを抱える父母への心理的サポート～事例からの学びを通して～	10月	1.5時間	104	講義：三原喜美恵遺伝カウンセリングナース
	周産期	胎児診断治療に関する倫理問題	11月	1.5時間	133	パネルディスカッション 座長：鈴木佳奈子臨床教員 パネラー： 左合治彦 胎児診療科医長 山内愛 副看護師長 中村和夫 新生児科医長 阿部知佳子 看護師

小児	在宅に向けての看護援助の継続性と関連部署との連携の必要性を考える	12月	1.5時間	86	パネルディスカッション 座長：加瀬由美子副看護師長 パネラー： 濱内明日香看護師 高橋由美子 訪問看護ステーションけやき訪問看護師 川畑美奈 そよ風分教室教諭 小暮 紀子 MSW
思春期	思春期の特徴の理解と看護介入～訴えの聞き方と理解について～	H20 1月	1.5時間	83	講義：東京医科歯科大学大学院小児・家族発達学准教授 丸 光江先生
成人	キャリアオーバーの患者・家族が直面する問題～医師と看護師の立場から考える～	H20 2月	1.5時間	82	パネルディスカッション 座長： 伊藤好美 副看護師長 黒田 達夫 外科医長 金子正英 循環器内科医師 天川 美樹 看護師（糖尿病療養指導士） 御厨 晶子 看護師

3.3 研修受け入れ

- 1) NICU 病棟 : 九州大学病院看護師 2 名, 2007. 6. 4～10. 31, 2007. 11. 1～2008. 3. 31
- 2) 救急センター : 日本看護協会認定看護師教育専門課程小児救急学科 3 名, 2007. 9. 25～10. 26
- 3) 成育医療研修 : 25 名, 2007. 12. 10～12. 12

3.4 看護学生・助産学生受け入れ

- 1) 独立行政法人国立病院機構災害医療センター附属昭和の森看護学校 合計 65 名
小児看護学 第 3 学年 : 2007. 5. 7～7. 13 65 名
- 2) 独立行政法人国立病院機構東京医療センター附属東が丘看護助産学校 合計 113 名
看護学科
小児看護学 第 3 学年 : 2007. 5. 14～11. 30 32 名
第 2 学年 : 2007. 12. 10～2008. 2. 29 12 名
助産学科 : 2007. 7. 2～11. 22 69 名
- 3) 国立看護大学校 229 名
政策医療看護学 4 年次 : 2007. 6. 11～9. 28 63 名
小児看護学 3 年次 : 2007. 11. 12～2008. 2. 29 90 名
母性看護学 3 年次 : 2007. 11. 12～2008. 2. 1 69 名
助産学 4 年次 : 2007. 8. 27～10. 18 7 名

3.5 見学他受け入れ

- 1) 総合看護学実習(日本赤十字九州国際看護大学) : 1 名 2007. 6. 1
- 2) ICN 学術集会施設見学(日本看護協会) : 20 名 2007. 6. 2
- 3) 自治医科大学大学院生 : 5 名 2007. 6. 22
- 4) サウジアラビア女子看護教育コース(財団法人国際看護交流協会) : 8 名 2007. 7. 2
- 5) 看護指導者育成コース(財団法人国際看護交流協会) : 12 名 2007. 7. 24
- 6) 国立看護大学校研究過程部成育看護学分野学生 : 1 名 2007. 9. 10～9. 23

- 7) 認定管理者教育管理者セカンドレベル「情報テクノロジー」(東京都看護協会) : 16名 2007. 9. 11
- 8) アフリカ母子保健管理コース(財団法人国際看護交流協会) : 14名 2007. 9. 18
- 9) 職場体験(石神井西中学校) : 1名 2007. 11. 28~11. 29
- 10) 聖マリア病院 : 4名 2007. 11. 16
- 11) 聖路加看護大学大学院生 : 1名 2008. 2. 4~2. 6、2. 8、2. 12~2. 13
- 12) 皮膚・排泄ケアコース(国立看護大学校研修部) : 8名 2008. 3. 12、3. 19

4. 講師派遣

4.1.1 院外

- 1) 西海 真理 : 日本看護協会神戸研修センター, 2007. 5. 26
「子どもと家族を救う小児救急看護」、講師
- 2) 西海 真理 : 国立看護大学校, 2007. 6. 12
小児看護援助論「ハイリスク新生児の看護」、講師
- 3) 西海 真理 : 日本看護協会看護研修学校, 2007. 8. 22~. 23
認定看護師教育専門課程小児救急学科「子ども・家族への接近方法」、講師
- 4) 西海 真理 : 埼玉県看護協会継続教育事業研修会, 2007. 11. 1
「小児外来を訪れる子どもと家族の支援」、講師
- 5) 西海 真理 : 国立病院機構中信松本病院成育看護講演会, 2008. 2. 13
「慢性疾患患児と家族の看護」、講師
- 6) 三原喜美恵 : 国立看護大学校, 2007. 4. 17
高度先駆的医療看護「遺伝性疾患をもつ患者と家族の看護」、講師
- 7) 三原喜美恵 : ジャンザイム・ジャパン株式会社-社員講習会, 2007. 4. 24
「出生前診断と遺伝カウンセリング」、講師
- 8) 三原喜美恵 : 日本家族計画協会-第30回遺伝カウンセリングリフレッシュセミナー
2007. 6. 23~6. 24, 「ムコ多糖症の遺伝カウンセリング事例の紹介」、講師
- 9) 三原喜美恵 : 東京医科歯科大学-第18回東京医科歯科大学遺伝診療外来セミナー, 2007. 7. 2「国立成育医療センターにおける遺伝医療の実際～遺伝カウンセリングナースとしての実践～」, 講師
- 10) 三原喜美恵 : 日本助産師会東京都支部-助産師教育指導講習会, 2007. 10. 1, 2008. 1. 24
「遺伝看護の実際～事例から学ぶアプローチ～」, 講師
- 11) 三原喜美恵 : 第25回日本染色体遺伝子検査学会学術集会イブニングセミナー, 2007. 11. 17
「成育医療における遺伝カウンセリング」、講師
- 12) 三原喜美恵 : 東京都新生児研究会, 2007. 12. 8, 「先天異常児と両親への関わり」、講師
- 13) 三原喜美恵 : 東京医療保健大学第4回小児看護セミナー, 2008. 2. 12
「国立成育医療センターにおける医療と看護、および遺伝カウンセリングナースの活動について」、講師
- 14) 三原喜美恵 : 日本看護協会, 2008. 2. 14, 「先天異常をめぐる周産期看護」、講師
- 15) 三原喜美恵 : 第1回北海道先天代謝異常治療研究会, 2008. 3. 7
「症例から学ぶムコ多糖症の遺伝カウンセリング」、講師
- 16) 三原喜美恵 : 鳥取大学, 2008. 3. 24
「先天代謝異常症の遺伝カウンセリング・出生前診断と治療法の選択」、講師
- 17) 三原喜美恵 : 成育代謝異常症研究会, 2008. 3. 28
「ムコ多糖症の遺伝カウンセリング」、講師
- 18) 林 幸子 : 国立看護大学校, 2007. 4. 27
高度先駆的医療看護「小児救急医療を受ける子どもと家族の看護」、講師

- 19) 林 幸子：日本看護協会看護研修学校, 2007. 8. 21
認定看護師教育専門課程小児救急学科, 「トリアジナースの役割」, 講師
- 20) 林 幸子：埼玉県看護協会研修, 2007. 11. 5
小児看護「小児外来を訪れる子どもと家族への支援」, 講師
- 21) 林 幸子：茨城県小児医学会講演会, 2007. 11. 29
「小児救急現場の看護師によるトリアージの実際」, 講師
- 22) 林 幸子：日本小児看護学会「健やか親子 21 推進事業」プロジェクト, 2007. 12. 5～12. 7
トリアージ研修会第回「トリアージとは」「蘇生処置拒否の意思表示の確認」, 講師
- 23) 林 幸子：日本小児看護学会「健やか親子 21 推進事業」プロジェクト, 2008. 1. 30～2. 1
トリアージ研修会第3回「トリアージとは」「蘇生処置拒否の意思表示の確認」, 講師
- 24) 林 幸子：国立病院機構中信松本病院成育看護講演会, 2007. 2. 6
「小児救急看護ケアの実際」, 講師
- 25) 伊藤 龍子：専修大学附属高等学校, 2007. 9. 1
カウンセリング研修会「学校における健康問題と教育と医療の連携」, 講師
- 26) 伊藤 龍子：静岡県立大学, 2007. 10. 1～2008. 3. 31、小児看護学演習、非常勤講師
- 27) 伊藤 龍子：日本小児看護学会「健やか親子 21 推進事業」プロジェクト, 2007. 12. 5～12. 7
トリアージ研修会（第2回）「小児救急医療体制と概要」, 講師
- 28) 伊藤 龍子：日本小児看護学会「健やか親子 21 推進事業」プロジェクト, 2008. 1. 30～2. 1
トリアージ研修会（第3回）「小児救急医療体制と概要」, 講師
- 29) 宮澤 佳子：日本看護協会看護研修学校, 2007. 8. 24
認定看護師教育専門課程小児救急学科「子どもの虐待～看護師の役割と活動」
講師
- 30) 宮澤 佳子：日本小児看護学会「健やか親子 21 推進事業」プロジェクト, 2007. 12. 5～12. 7
トリアージ研修会第2回「トリアージシステムの中での看護師の擁護」, 講師
- 31) 宮澤 佳子：日本小児看護学会「健やか親子 21 推進事業」プロジェクト, 2007. 1. 30～2. 1
トリアージ研修会第3回「トリアージシステムの中での看護師の擁護」, 講師
- 32) 剣持 瞳：愛知県がんセンター中央病院, 2007. 8. 28
がん専門看護実務研修小児がん看護, 講師
- 33) 剣持 瞳：NHO 災害医療センター附属昭和の森看護学校, 2007. 11. 12、11. 19
小児看護学 対象の理解「白血病の患児の理解」, 講師
- 34) 三隅 裕美：第12回日本小児ストーマ排泄管理セミナー, 2007. 5. 26～5. 27, 講師
- 35) 相吉 恵：長野県立こども病院, 2007. 6. 26
「こどものへのインフォームド・コンセント～こども/家族中心医療～」, 講師
- 36) 林 真由美：日本大学商学部公開講演会, 2007. 10. 13
「国立成育医療センターの小児救急の取り組みについて」, 講師
- 37) 工藤真奈美：日本小児看護学会「健やか親子 21 推進事業」プロジェクト, 2007. 12. 5～12. 7
トリアージ研修会第2回「トリアジナースの役割他」, 講師
- 38) 工藤真奈美：日本小児看護学会「健やか親子 21 推進事業」プロジェクト, 2007. 12. 5～12. 7
トリアージ研修会第3回「トリアジナースの役割他」, 講師
- 39) 荒武 亜紀：NHO 災害医療センター附属昭和の森看護学校, 2007. 11. 9、11. 16
小児看護学 対象の理解「小児外科疾患と看護」, 講師
- 40) 野口美穂子：国立看護大学校, 2007. 5. 25, 高度先駆的医療看護「こころの医療を必要とする子どもと家族の看護」、講師

- 41) 野口美穂子：国立病院機構中信松本病院成育看護講演会, 2008. 2. 22
「心のケアを必要とする患者と家族の看護」, 講師
- 42) 高橋みゆき：聖徳大学短期大学部医療保育専攻科, 2007. 9. 29
「医療保育について」, 講師

4.1.2 院外その他

- 1) 西海 真理：産業総合研究所, 成育医療センター共催 子どもの事故による障害予防へのアプローチ 障害サーベイランス・プロジェクト中間報告会, 2007. 6. 6, 「小児救急センターでの事故情報収集活動」, 発表
- 2) 西海 真理：日本小児看護学会第 17 回学術集会, 2007. 7. 21
「小児救急医療における看護師のトリアージ」, テーマセッション話題提供者
- 3) 西海 真理：経済産業省安全知識循環型社会構築事業-キッズデザイン博,, 2007. 8. 9
「看護師が行う子どもの障害情報収集」, シンポジスト
- 4) 西海 真理：経済産業省安全知識循環型社会構築事業-キッズデザインクリスマスイベント
2007. 12. 2, 「あぶない！をみつめるために」, シンポジスト
- 5) 林 幸子：傷害サーベイランスプロジェクト「キッズデザイン展 2007inOsaka」, 2007. 11. 16
「あぶない！のかがくとキッズデザイン～子供たちへの安全・安心なくらしのために」, 発表
- 6) 伊藤 龍子：日本小児看護学会第 17 回学術集会, 2007. 7. 21
「小児救急医療における看護師のトリアージ」, テーマセッションファシリテーター・話題提供者
- 7) 八代 尚美：日本小児看護学会第 17 回学術集会, 2007. 7. 20
「書いてみよう、採用される抄録—明日から役立つ応募の極意」, テーマセッション話題提供者
- 8) 石川 陽子：思春期看護研究会(平成 19 年度第 1 回), 2007. 7. 7
「対話的關係に基づいた慢性疾患を抱える思春期患者の看護—交換日記を用いて患者との関係性を深められた事例を通して—」, 発表
- 9) 清水 裕子：CRC と臨床試験のあり方を考える会議, 2007. 6. 20
「できることから始めよう！小児治験の活性化のために」, シンポジスト
- 10) 早坂 素子：第 61 回国立病院総合医学会, 2007. 11. 16, ポスターセッション座長
- 11) 平 真由美：NPHC 第 10 回フォーラム, 2007. 12. 1
「病院における遊びの文化の専門家として」, パネリスト

4.1.3 院内講師

- 1) 西海 真理：看護部院内教育成育看護専門研修基礎コース, 2007. 9. 19
「臨床における看護理論の活用」, 講師
- 2) 三原喜美恵：看護部院内教育生育看護専門研修生殖看護コース, 2007. 10. 24
「遺伝性疾患の子どもを抱える父母への心理的サポート～事例からの学びを通じて～」, 講師
- 3) 佐藤ゆかり、高橋 弘美：グランドランド, 2007. 11. 12
「こどもの虐待～MNBP 症例を経験して～」, 発表
- 4) 阿部知佳子：看護部院内教育成育看護専門研修周産期コース, 2007. 11. 14
「出生前診断の現場で発生しうる諸問題に関連した倫理上の問題点—NICU における事例紹介—」, パネリスト
- 5) 山内 愛：看護部院内教育成育看護専門研修周産期コース, 2007. 11. 14
「出生前診断の現場で発生しうる諸問題に関連した倫理上の問題点 出生前診断と看護—胎児異常を診断された両親のケア—」, パネリスト

- 6) 御厨 晶子：看護部院内教育成育看護専門研修成人期コース, 2008. 2. 27
「成人期の意思決定支援を通して」, パネリスト
- 7) 天川 美樹：看護部院内教育成育看護専門研修成人期コース, 2008. 2. 27
「キャリアオーバーの患者・家族が直面する問題～慢性疾患を持ち成人期に移行する患者が直面する問題への支援～」, パネリスト
- 8) 細野 公子：看護部院内教育成育看護専門研修生殖期コース, 2007. 12. 11
「不妊治療現場における看護師の役割」, 講師
- 9) 細野 公子：国立成育医療センター6周年記念公開市民講座, 2008. 3. 1
「当センターの女性総合外来を振り返って」, 講師
- 10) 三原喜美恵：妊娠と薬情報センター研修, 2008. 3. 15
「情報提供の留意点～認定遺伝カウンセリングナースの経験から～」, 講師

4.2 投稿

- 1) 阿部 聖世：いまどきの出産事情 夫が立会分娩をするということ. チャイルドヘルス Vol. 10 No6, チャイルドヘルス出版, 2007 ; 38
- 2) 林 幸子：やってはいけない看護技術 適切なトリアージが患者の安全を守る. 看護実践の科学増刊号 Vol. 32 NO. 7, 看護の科学社, 2007 ; 102-109
- 3) 早坂 素子：術前の観察項目・処置・評価のポイントと効果的な術前看護の進め方. こどもケア Vol. 2 No3, 日総研出版, 2008 ; 6-15
- 4) 加藤佐和子：NRP における看護の取り組み. ネオネイタルケア, メディカ出版, 2007 ; 41-48
- 5) 相吉 恵, 坂下 芙美枝：子どもへのプリパレーションー混合病棟で取り組めることー. 小児看護 Vol. 30, No10, へるす出版, 2007 ; 1419-1426
- 6) 林 幸子：子どもたちへのアプローチ「事故予防 第2報」. 看護実践の科学, 看護の科学社, 2007 ; 90-91
- 7) 林 幸子：小児の一次救命処置における G2005 のポイントと主な変更点. ナーシングトデイ, 日本看護協会出版会, 2007 ; 5
- 8) 加藤ゆみえ：成育医療の充実を図る保育. 実践 医療保育「いまー現場からの報告」, 診療と治療社, 2007 ; 44-59
- 9) 林 幸子：子どもたちへのアプローチ「事故と虐待」. 看護実践の科学, 看護の科学社, 2007 ; 90-91
- 10) 神庭未歩子・野口美穂子：長期的なフォローアップが必要となる子どもと家族のケアー会復帰時の不安に対する看護についてー. 小児看護 Vol. 30 No12, へるす出版, 2007 ; 1712-1717
- 11) 林 幸子：子どもたちへのアプローチ「子育て支援としての小児救急」. 看護実践の科学, 看護の科学社, 2007 ; 90-91
- 12) 浅田美津子・工藤奈美子：乳幼児の中心静脈栄養と管理のポイント. こどもケア Vol. 2 No5, 日総研出版, 2007 ; 10-14
- 13) 林 幸子：子どもたちへのアプローチ「経口補水療法」. 看護実践の科学, 看護の科学社, 2007 ; 88-89
- 14) 島田 知子・菅原 美絵・三浦 祥子：小児の成長発達段階を考慮した感染対策. 看護実践の科学 Vol. 33 No3, 看護の科学社, 2008 ; 23-29

5. 保育士の活動

5.1 概要

平成 19 年度の保育士定数は 4 月 1 日付で 6 名、保育活動は 7～9 階の小児 6 病棟の入院患児を対

象に行った。今年度の保育係活動は、業務・行事・物品・研修（自己学習）、保育記録に加え、リスク係を立ち上げ活動した。

保育活動は、日々の各病棟での保育活動の他に、年間行事を5回、パネルシアター・紙芝居・季節の制作など複数の保育士による一斉保育（ぼけっと保育）を21回実施。その他、成育ボランティアの協力を得て、8回のイベントを設けることができた。開院6年目をむかえ、幼児学童に加え、乳児・障害児およびその家族を含めて保育活動へ参加する、という保育環境が定着してきている。

保育業務では、平成20年3月の電子カルテシステム更新に向けて、保育記録の書式を改訂し、新たな保育記録システムを作成した。加えてリスク係を立ち上げたことにより保育活動における安全管理への意識が高まり、感染対策も含めた環境整備をより一層強化できた。また新採用者に向け、院内教育の一環として新人教育システムを作成した。

保育士内での勉強会及び院内研修に加え、院外研修にも積極的に参加し専門的知識向上を図っていった。現在、日本医療保育学会 医療保育専門士認定制度の第一期研修に5名、第二期研修に1名受講中である。

5.2 保育活動

5.2.1 年間行事

5月	こいのぼり会
7月	七夕会
10月	ハロウィン会
12月	クリスマス会
3月	ひなまつり会

5.2.2 保育業務

4月	次期カルテシステムへの準備（新保育記録 書式作成）
5月	勉強会① 発達障害について
6月	勉強会② 事例検討会
9月	各係活動の中間評価
11月	勉強会③④ 事例検討会
12月	現行の保育手順を評価、見直し
1月	研修生受け入れマニュアル作成

5.2.3 見学・研修受け入れ

見学受け入れ保育対応3件。保育業務の説明と小児病棟の見学を中心に行った。
研修生受け入れ1件。保育業務の説明と小児病棟の見学、保育実践を行った。

5.3 研究活動

5.3.1 院外発表

- 1) 林 典子：新人教育を実施して. 第11回日本医療保育学会, 大分, 2007. 7. 21

5.4 院外活動

5.4.1 講師

- 1) 高橋みゆき：聖徳大学短期大学部医療保育専攻科, 2007. 9. 29 「医療保育について」, 講師
- 2) 平 真由美：NPHC 第10回フォーラム, 2007. 12. 1
「病院における遊びの文化の専門家として」, パネリスト

5.42 社会的活動

- 1) 日本医療保育学会調査研究委員長：高橋みゆき
- 2) 日本医療保育学会調査研究活動：6名参加, 2007. 9. 16
- 3) 日本医療保育学会調査研究活動：2名参加, 2007. 10. 23

5.5 投稿

- 1) 加藤ゆみえ：成育医療の充実を図る保育. 実践 医療保育「いまー現場からの報告」, 診療と治療社, 2007;44-59

5.6 研修

- 1) 第11回日本医療保育学会：2007. 7. 21～22
- 2) 日本医療保育学会 医療保育専門士資格認定研修（第一期）：2007. 8. 18～19, 2007. 9. 15～16
- 3) おもちゃ・子育てアドバイザー養成講座：2007. 10. 6, 2007. 10. 13～14
- 4) 児童指導員・保育士連絡協議会：2008. 2. 2
- 5) 日本医療保育学会 医療保育専門士資格認定研修（第二期）：2008. 3. 2
- 6) 日本医療保育学会関東ブロック研修会：2008. 3. 9
- 7) 小児救急市民公開フォーラム：2008. 3. 22